

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31年 2月 28日

事業所名 えがお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後は、評価表やアンケート調査を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		現在、HPIに制作中
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後、実施できるようにします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修の機会を確保してあります。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		<input type="radio"/>	朝のミーティングで共有しています。	支援終了後の振り返りがまだまだ不足していると感じております。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		<input type="radio"/>		管理責任者が主に出席するようにしております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		<input type="radio"/>		月間ごとに個人用カレンダーを作成し利用状況の確認を行い、連携を働きかけ、情報の共有や連絡調整につとめています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		主治医との連携も今後行っていくべきだと考えております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		<input type="radio"/>		今後、就学前に利用していた関係機関と連携を取っていくように努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		現在、当事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行された児童はいませんが、それまでの支援内容等の情報提供をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	児童館や公共の公園へ遊びに行っています。	そのような活動も検討したいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	事業者連絡会には常に参加している。	人員配置の都合上可能な場合は、参加するようにしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>		ベアトレという形での支援は現在行っておりませんが、今後は取り組みたいと思っております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		常に一緒に子育てを伴走しながら支援している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		イベント等を企画し、保護者様に来所していただくように働きかけしていきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		活動の様子や報告、SNSでの情報発信の情報を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	買い物学習のときには地域のスーパーを利用させていただいています	今後は積極的に取り組んでいきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	対応マニュアルは事業所内に設置しています。	緊急時対応マニュアルを、周知します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		危機管理意識を高め、6ヶ月に1度以上行えるように努力していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		内部研修やスタッフ面談で常に虐待防止について話しを行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			今のところ、拘束事例はありませんが、今後は身体拘束禁止規定を策定し、保護者様にも丁寧に説明していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アレルギーのお子様の事例はありませんが、保護者様からの聞き取りによる内容を職員に周知対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットを作成し書面で残し、閲覧できるようにしていきます。